

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年4月2日

事業所名 放課後等デイサービス事業所 じゃんぱ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			指導訓練室は42.6㎡あり、その他にも活動エリアを有しているので療育等に支障ない。	
	2	職員の配置数は適切である	○			配置数については基準を満たしており、発達支援のための人員も確保できている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			入口、トイレ等、全館バリアフリー化されている。	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			定期的なミーティングや毎日の振り返りにおいて、職員が参画して実施できている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者向け評価表や面談時による意見をもとに、業務の改善につなげている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			法人のホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	第三者による外部評価は行っていない。	今後の検討課題とする。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○		新型コロナウイルス感染症の影響もあり、研修機会が減ったが、リモートによる研修の機会を確保した。	今年度は新型コロナウイルス感染症の動向を確認しながら、研修の機会を確保していく。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			アセスメントや日々の支援記録、保護者の面談などに基づいて、ニーズや課題を分析して放課後等デイサービス計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		専門機関との情報共有や保護者との情報共有を丁寧に行っている。	引き続き、保護者を通じて専門機関等で実施されたフォーマルアセスメントを入手する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			定期的なミーティング等で、職員が参画して活動プログラムを立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			放課後等デイサービス計画に沿って、個々の活動プログラムを組み立てており、子どもの状況や課題に応じて、適宜活動プログラムを改善するようにしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			平日にできない課題を休日・長期休暇に設定して取り組んでいる。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		○		子どもの特性に応じて個別活動を中心に計画を立て、状況に応じて複数での活動を取り入れている。	個別活動を重点的に取り組んでおり、集団活動が適さない子どもたちもいるので取り組む機会が少ないが、今後とも子どもに応じて集団活動について検討する。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○		支援開始前の打ち合わせは実施していないが、支援内容、役割についての共有をスタッフ間で行っている。	普段の情報共有やミーティング等において支援に必要な情報を共有していく。	

関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			支援終了後には、その日の職員で振り返りを必ず行い、その他気になることは会議で協議している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			放課後等デイサービス計画の内容に沿った記録をとり、支援の振り返りや支援会議、放課後等デイサービス計画の変更の際に活用している。	
	18	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			定期的にもモニタリングを実施して、放課後等デイサービス計画の見直しを実施している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている		○		子どもの発達段階や保護者のニーズに応じて基本活動の内容を実施している。地域交流の機会は少ない。	地域交流の機会が少ないが、その他は個別に取り組むことができている。今後、必要な子どもがいたら地域交流の機会について検討する。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児童発達支援管理責任者が参加しており、必要に応じて担当者も参加している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			保護者より情報を提供してもらい、必要に応じて事業所としても学校へ直接確認している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○			対象児童なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所とは直接やり取りはないが、保護者や学校から必要に応じて情報を提供してもらっている。	今後とも、保護者や学校から必要に応じて情報を提供してもらおう。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			学校が企画する移行支援会議へ出席し、情報シートを基に情報を説明・提供している。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			専門機関に相談をしたり、研修に講師として来てもらい受講している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		子どもの特性を踏まえ保護者との確認の上で実施していない。	今後、発達支援のうえで交流が必要と考えられる子どもがいる時には機会の確保などを検討する。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○			佐賀中部地区放課後等デイサービス連絡会に加盟し参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳、引き継ぎ、面談にて保護者との情報共有や共通理解ができている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		引き継ぎや面談時と一緒に考え、相談しやすい環境になっているが、ペアレント・トレーニング等の支援は行っていない。	引き継ぎ、引き継ぎや面談時に保護者の相談にのり、必要に応じて助言をしていく。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用前面談時や契約時などに説明している。		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		面談等において相談に適切に応じ、必要な助言を行っている。		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	保護者の茶話会をする予定だったが、コロナの関係で開催できていない。	今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で茶話会を開催できなかったため、今後開催を検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情はないが、対応の仕組みはできている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			法人の会報を毎月発行し、事業所での掲示、ご利用者自宅への送付を行っています。また、事業所においても案内等を配布している。	
	35	個人情報に十分注意している	○			個人情報取り扱い同意書に基づいて個人情報の取扱いについては十分に注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			面談時等に場所やツールを見てもらう機会を作って分かりやすく伝えるようにしている。	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○	法人全体で企画し、地域の方や利用関係者が参加できるイベントを開催していたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、実施を見送った。	法人全体で夏祭りや餅つきを開催や地域住民の招待などを検討する
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している			○	各種マニュアルを作成して玄関に常設しており、いつでも見てもらうことができるようになっているが、今年度は茶話会などの実施を自粛したため、直接説明する機会がなかった	整備しているマニュアルを、職員にはミーティング等で周知し、保護者には茶話会等の機会に周知する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			ライフサポートセンターとして同一敷地内に設置運営する他事業所と合同で定期的に自衛消防訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止体制を整備しており、毎年、虐待防止研修を実施している。	
	41	このような場合に行われるべき身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			○		対象児童なし
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			○		対象児童なし
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハットをまとめて、ミーティング等で共有している。		